小学校４年　国語　調査結果の考察

（１）設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	観点別			計
	書くこと	読むこと	言語事項	
＋10％ より高い	0	1	1	2
±10％ の範囲内	1	2	4	7
－10％ より低い	0	1	0	1
計	1	4	5	１０

（２）考察

①　全体について

ア　「言語事項」についての学習状況はおおむね良好である。

イ　「書くこと」「読むこと」については学校間での差が大きい。

②　成果

ア　「書くこと」では、書く必要のある事柄を、収集したり選択したりして書くことについてはおおむね良好である。

イ　「読むこと」では、叙述に注意しながら文章を読み、想像豊かに内容や情景をとらえることは良好である。

ウ　「言語事項」の漢字の読み・書きが良好である。

③　課題

ア　「書くこと」では、目的や条件に応じて書く力が十分ではない。

イ　「読むこと」では、物語の展開をとらえるために、細部に注意して読み取る力が十分ではない。

ウ　「言語事項」では、修飾語、被修飾語についての理解を一層図る必要がある。

（３）今後の指導

ア　「書くこと」では、多様な機会をとらえ、目的や条件に応じて書く指導を充実させたい。

・日常生活で活用される文章を書く活動を設定する。例えば学級新聞の記事を書くという設定であれば、読者という相手や伝える目的などが決まってくる。手紙文、記録文、説明文など表現様式を明確にすることにより、目的や条件を具体的に意識しながら書く学習の展開を工夫する。

・具体的な体験等に基づいた事柄を書く活動を設定する。身の回りの出来事や体験に基づき、自分の考えを明確にするための具体的な理由や事例について記述させるよう配慮したい。

10）学級新聞に、「家庭学習ノートの使い方」について記事を書くことにしました。次の取材メモをもとにあとの〈注意〉にしたがって、下の原こう用紙に書きなさい。

イ　「読むこと」では、物語の展開をとらえるために、文章全体と細部に注意して読み取る指導を取り入れたい。

・場面の移り変わりに注意しながら文章全体を読ませ、部分と全体を行き来しながら、豊かに想像しながら読む学習活動を展開する。全体をとらえるために、場面と場面を関係付けながら読み取らせることに配慮したい。

・全体構成をつかませると同時に、比喩、色彩語、反復、対比や、キーワードととなる語など、登場人物の心情をイメージさせる語句を見付け、表現のよさをとらえさせる。

・文章に読み慣れるよう様々な文章に接する機会をもち、日常的な読書活動の充実を図る。

9）ライオンに二つの反対の気持ちがわいてきています。その気持ちを表している本文中の言葉を、**四字**と**二字**で書きなさい。